

平成26年度末の震災復旧状況

市は、平成二十三年十月に策定した「いわき市復旧計画」に基づき、道路や橋りょうなどの社会基盤、公共施設などの復旧に取り組んでいます。昨年度末時点の同計画の進捗状況をお知らせします。

四年間の総事業費は約七百二十六億円

復旧事業の総事業費は、計画では約六百十四億円と見込んでいましたが、復旧手法の変更や、資材・労務単価の上昇などにより、約百十二億円の増額となり、現時点では約七百二十六億円と見込んでいます。

また、昨年度末時点の進捗状況としては、昨年度内に完了できなかった事業が一部あるものの、平成二十三年度から四年間で、契約事業費（発注などの実績を反映した事業費）ベースで、約七百二十六億円の事業に取り組んできました。

これは、総事業費の見込み額と同額で、進捗率百パーセントとなり、全事業が契約済みとなっています。

〈図1〉主な復旧状況	施設等名	復旧前	復旧後
	泉町地内 北緑地グラウンド 仮置場		
	永崎小学校 (敷地)		
	山田町地内 岸ノ内・橋本線 橋りょう (橋本橋)		

〈表1〉契約事業費ベースの進捗状況(当初計画との比較) 【単位：百万円】

区分		H23年度	H24年度	H25年度	H26年度	合計
当初計画	事業費	38,099	12,550	10,734	28	61,411
	累計	38,099	50,649	61,383	61,411	61,411
当初計画	進捗率	62%	20%	17%	1%	100%
	累計	62%	82%	99%	100%	100%
実績	事業費	27,092	27,988	10,397	7,074	72,551
	累計	27,092	55,080	65,477	72,551	72,551
実績	進捗率	37%	39%	14%	10%	100%
	累計	37%	76%	90%	100%	100%

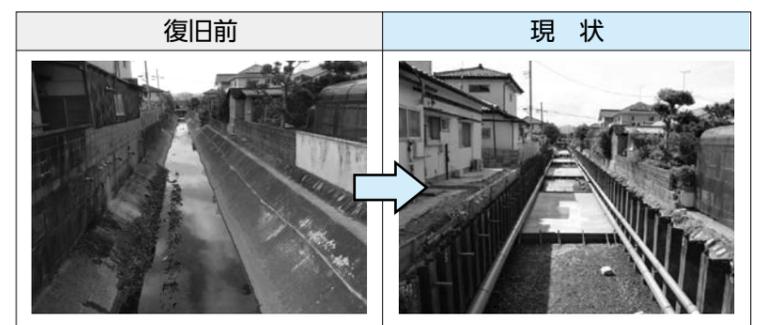
小区分での進捗率は約九十八パーセント

市復旧計画に位置付けた小区分(施設等)別の進捗状況は、全百二十四区分のうち百二十二区分(約九十八パーセント)で、復旧が「完了」しています。残り二区分(約二パーセント)は、一部の工事が本年度に繰り越すなど、計画と比較して「遅延」していますが、契約は全ての区分で完了しており、おおむね計画どおりに進捗しています。

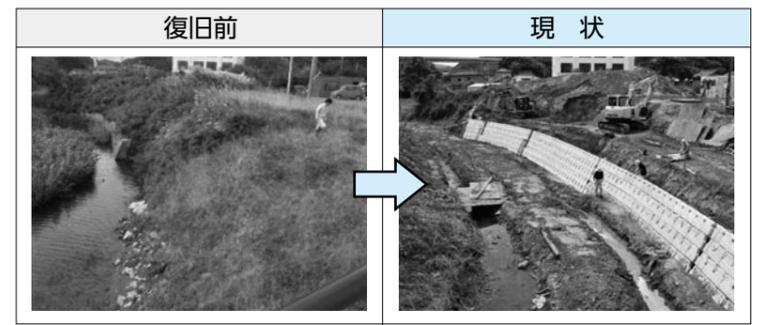
◇ 本年度に繰り越した二区分のうち、一区分については、本年五月に事業が完了しています。
◇ 残り一区分で二事業(図2)が未しゅん工となつていますが、引き続き、全ての復旧事業の早期完了に向け、取り組んでいきます。

〈図2〉未しゅん工の2事業

○錦町地内
御堂川護岸復旧工事
全国に数台しかない特殊機材を使用するため、震災後の需要増により機材確保に期間を要しています。



○久之浜町地内
横内川護岸復旧工事
国庫負担金の交付決定に期間を要したことや、震災復旧・復興工事の集中により作業員の確保が困難な状況から、遅れが生じています。



○お問い合わせ
行政経営課
行政経営係
☎22・1216

FMいわきと「災害時における放送要請及び緊急放送等に関する協定」を締結

ふるさと発信課ソーシャルネットワークグループ ☎22-7503
危機管理課災害対策係 ☎22-1242

6月2日に、株式会社いわき市民コミュニティ放送(FMいわき)と同協定を締結しました。

これにより、Jアラート(全国瞬時警報システム)や市防災行政無線などと連動しながら、FMいわきの放送を通じて、緊急性の高い災害などの



協定を締結した渡辺代表取締役(左)と清水市長

情報を迅速に発信できるようになります。また、大規模災害時には、FMいわきと連携して「臨時災害放送局」を開設し、災害情報や市政情報などを発信します。

(仮称)福島県フットボールセンターいわき市新舞子フットボール場を整備

文化・スポーツ課スポーツ振興係 ☎22-7553
公益財団法人日本サッカー協会は、東日本大震災復興支援活動の一環として、今年度、本市にフットボール場を整備します。同施設は、同協会が整備した後、本市に寄付される予定です。

- 整備の概要
- ▶整備場所 いわき新舞子ハイツグラウンド内(平下高久字南谷地地内)
- ▶整備内容 人工芝サッカーグラウンド1面(規模:105m×68m=7,140㎡)
※夜間照明設備、防球ネットは、市で整備予定。
- ▶供用開始時期 平成28年4月(予定)



フットボール場の整備予定地